

NPO 京都コミュニティ放送
第 126 回 番組審議会 議事録

開催日時：2018 年 10 月 22 日（月）10：30～12：00

会 場：イヌイ四条ビル 3 階「flag 四条」

出席委員：福井秀彦 岡本卓也 中村正 小泉杏菜 隅井美沙子

欠席委員：竹下清 ジェフ・バーグランド

局側委員：松岡千鶴 藤本香

■審議番組 「草莽の憂国ラヂオ」毎月第 2 水曜日 12 時から放送の 6 分番組
非命に斃れた憂国の行動者を顕彰する番組
番組オーナー 洛風書房 魚谷哲央さん

■番組審議

冒頭、番組オーナー魚谷さんから番組趣旨の説明があった。

明治維新から今年 150 年の節目に当たる。其々の時代には表史と裏面史がある。戊辰戦争や会津藩を裏面史という見方で着目し、敗者の立場の人達の事を知ってもらいたいと思った。歴史は立場を変えるとゴロっと評価が変わるものである。洛風書房では古本と新本両方置いている。以前神職についていたので神道関連の本が多い。

第 2 回目 10 月の放送を聞いて審議をスタートした。

- ・赤報隊の話だったが、アニメの「るろうに剣心」に登場していたので知っている。
- ・朝日新聞を襲撃した犯人は赤報隊を名乗っていた。彼はわたしの友人だった。
万人受けする内容ではない。
- ・番組の導入部に音楽があった方が良い。
- ・次回、三島由紀夫の取り上げ方は？
- ・作品を朗読しようと思っている。(魚谷)
- ・何故、今、この時代に三島由紀夫を取り上げるのか？
- ・近年、三島由紀夫が注目されているのか、問い合わせが時々ある。(魚谷)
- ・史実を伝える事は意味があると思うが。
- ・作家としての三島由紀夫の講演は何度か行ったことがあるが、そのような場では「英霊の声」にあるような考え方について一切口にできなかった。記憶に新しい事について、何を伝えるかは大変難しい。
- ・番組では、史実のみを伝えるようにしていただきたい。
- ・何故今、三島由紀夫を取り上げるのか、やはり疑問に思う。
- ・取り上げる事がおかしいという事自体が、おかしいのではないか。(魚谷)
- ・どの様な角度で取り上げるのかという説明が、必要であると思う。

以上で審議を終了した。

この審議会の議事録は 2018 年 11 月 19 日から事務所で閲覧できるようにした。

この審議会の議事録は 2018 年 11 月 19 日からホームページで公開した。